

神経研究の進歩 第18巻 総目次

1974年(第1号—第6号)

〔特集 神経病理〕

会長挨拶……………大塚 良作…… 3(1)

シンポジウム「Creutzfeldt-Jakob 病とその類縁疾患」

Creutzfeldt-Jakob 病(Creutzfeldt-Jakob 症候群)の神経病理学的背景……………白木 博次…… 4(1)

故松岡龍典助教授を偲ぶ……………31(1)

Creutzfeldt-Jakob 病—臨床と病理学—……………松岡 龍典……33(1)

Creutzfeldt-Jakob 病の実験的研究—亜急性海綿状脳症は代謝異常疾患か—
生田 房弘・熊西 敏郎・大橋 威雄
古賀 誠……………46(1)

討論……………62(1)

一般演題

Astrocyte に核内封入体を認めた
1 剖検例—自験第2 例—
安楽 茂己・小島居 建・谷村 晃
山本 秀雄・上田 正人……………68(1)

老人痴呆脳の電子顕微鏡的観察：
Neurofilaments の Twisted
Tubules への転換および Pick
小体と Alzheimer 原線維変化の関連性について……………小柳 新策……77(1)

Striato-nigral Degeneration の神経病理—Olivopontocerebellar Atrophy に近縁なこの Multiple System Atrophy と Idiopathic Paralysis Agitans との比較—
山村 安弘・大浜 栄作・吉村 教雄
渥美 哲至・小柳 新策・生田 房弘……………89(1)

小脳・脊髄・橋被蓋・感覚中継核変性を主とした先天性家族性変性疾患の一家系
高橋 和郎・中村 晴臣・有馬 正高
中島 敏夫……………107(1)

Hallervorden-Spatz 病と Infantile

Neuroaxonal Dystrophy の病

理学的比較

高嶋 幸男・湯浅 洸・横田 清
満留 昭久・黒川 徹・竹下 研三
黒住 武史・田中 健蔵……………115(1)

Infantile Neuroaxonal Dystrophy

の1 剖検例

木村 清次・井上 達・柳下 三郎
棚瀬 延・黒坂ふみよ……………123(1)

著名な組織球の出現と白質壊死を

特徴とした脳炎の1 例

三好 功峰・松岡 龍典・浜中 淑彦
岡本 英一……………132(1)

白血病の薬物治療中(L-asparaginase

その他)に生じた急性脳症と

その脳病変について(付:病巣

内に発見された核内封入体)

小田 雅也・白木 博次・本多 虔夫
高梨利一郎・村田 瑞穂……………141(1)

脊髄の“鉛筆状軟化”に関する病

理学的研究……………長嶋 和郎・島峰 徹郎… 153(1)

重症心身障害の病理—とくに小脳

病変を中心として—

森松 義雄・篠原 猛・高屋 豪瑩
半田 照彦・室伏 君士・白木 博次… 167(1)

Leprechaunism (妖精症症候群)の

2 剖検例—とくに神経病理学

的立場からの検討—

高屋 豪瑩・篠原 猛・森松 義雄
小川 恵弘・諸岡 啓一……………178(1)

全身性エリテマトーデスにおける

中枢神経系病変—とくに合併

していた進行性多巣性白質脳

症および脊髄白質辺縁部壊死

について—

遠藤 雄三・原田 憲一・三村 信英… 188(1)

第14回日本神経病理学会学術研究会一般演題

抄録・討論…………… 201(1)

〔特集 神経系における液性情報伝達機構〕

視床下部下垂体神経分泌系“とく に視床下部下垂体前葉系につ いて”……………井端 泰彦・佐野 豊…	259(2)
神経分泌細胞膜の性質……………岩崎 静子…	271(2)
中枢ニューロンにおける液性情報 の受容機構 大村 裕・小野 武年・杉森 睦之 中村 勉・福田 隆一……………	281(2)
視床下部神経分泌細胞 (SO・PV ニューロン) の回路的性質…山下 博…	295(2)
軸索流……………永津 郁子…	308(2)
神経分泌顆粒の軸索流について…内園 耕二…	322(2)
神経分泌ニューロン終末部の物質 放出機構……………石田 絢子…	333(2)
分泌機序の細胞生理……………菅野 富夫…	345(2)
胃液分泌の液性機構と神経性機構 ……………松尾 裕・関 敦子…	353(2)

〔特集 脊髄血管障害〕

脊髄血管の解剖および血行動態…大友 英一…	443(3)
脊髄の血管性障害の臨床と病理…安藝 基雄…	463(3)
一過性脊髄虚血……………平山 恵造…	479(3)
胸腹部外科手術による脊髄障害 ……………恒川 謙吾・池田 正尚…	487(3)
脊髄血管障害の病理解剖—動脈硬 化性病変を中心として—……萬年 徹…	505(3)
脊髄血管障害の病理解剖—非動脈 硬化性病変ならびに鉛筆状軟 化—……………長嶋 和郎…	512(3)
亜急性壊死性脊髄炎 (Foix- Alajouanine)……………桶田 理喜…	525(3)
脊髄血管奇形とその外科治療……斎藤 勇…	536(3)
選択的脊髄血管撮影 ……………福島 孝徳・千ヶ崎裕夫…	549(3)

〔特集 平衡機能と姿勢反射〕

緒言—研究の歴史と現況—……福田 精…	631(4)
訓練の平衡生理—或る狂言の姿勢 とのりもの酔い……………福田 精…	639(4)
内耳の解剖と生理……………原田 康夫…	649(4)
耳石器官の形態……佐々木 寛・生駒 尚秋…	661(4)
耳石器官の生理……佐々木 寛・生駒 尚秋…	666(4)

前庭核、前庭脊髄路の解剖……………金光 晟…	673(4)
前庭核・前庭脊髄路の生理学—小 脳の影響も含む—……………吉田 充男…	685(4)
Labyrinth Ocular Reflex (内耳 動眼反射)……………鈴木 淳一…	698(4)
The Cervico-Ocular-Reflex のニ ューロン機構……………前田 稔…	710(4)
Tonic Labyrinthine Reflex の動 物 Model における分析……永木 譲治…	721(4)
起立姿勢維持における迷路の働き —迷路性筋緊張の検討—……時田 喬…	728(4)
姿勢反射の発達……………北原 侑…	738(4)
病的症例の分析—脳性小児麻痺を 中心として—……………瀬川 昌也…	745(4)
深部受容器 (頸部, 腰部) と関連 した平衡に関する反射—頭, 頸部外傷によるめまい例を中 心とする分析—……………檜 学…	749(4)
Startle Response……………島村 宗夫…	760(4)
平衡機能と姿勢反射における錐体 外路系の役割……………柳沢 信夫…	767(4)
小脳疾患と平衡機能の障害……吉倉 範光…	779(4)
アキネジア—純粋アキネジアの2 症例を中心として— ……………今井 寿正・植林博太郎…	787(4)
姿勢反射に対する末梢性因子—リ ハビリテーションの立場から —……………中村 隆一…	795(4)
総括……………植林博太郎…	807(4)

〔特集 メチル水銀中毒症研究の最近の進歩〕

自然環境におけるメチル水銀の生 物濃縮……………上田 喜一…	815(4)
メチル水銀の人体蓄積……………喜田村正次…	825(5)
自然と生物環境における水銀……滝澤 行雄…	835(5)
人の慢性発症水俣病 (慢性メチル 水銀中毒症) の病理発生, と くにその原因発生について ……………武内 忠男・衛藤 光明…	845(5)
微量慢性有機水銀中毒症の病理 生田 房弘・巻淵 隆夫・大浜 栄作 古賀 誠・山村 安弘・小宅 洋 斎藤 恒・菅野 三郎・喜田村正次…	861(5)
水俣病の診断に対する最近の問題 点……………椿 忠雄…	882(5)

多変量解析による水俣病の診断

井形 昭弘・浜田 陸三・柳井 晴夫… 890(5)

小児および先天性メチル水銀中毒

症……………森山 弘之・原田 義孝… 901(5)

メチル水銀中毒症の神経眼科学—

病理と眼症候—

……………筒井 純・岡村 良一… 912(5)

メチル水銀中毒による特異な視機

能障害とその推移について…岩田 和雄… 920(5)

メチル水銀中毒症の耳鼻咽喉科的

所見と平衡機能

……………猪 初男・水越 鉄理… 932(5)

メチル水銀と催奇形性……………西村 秀雄… 941(5)

〔特集 三叉神経系〕

三叉神経系の形態—運動核を中心

とする線維連絡—

水野 昇・岩堀 修明・中村 泰尚

小西 昭・佐藤 学…………… 971(6)

三叉神経系の形態—知覚核を中心

とする線維連絡……………川村 祥介… 985(6)

顎筋の固有受容器の形態

窪田金次郎・柵木 利昭・佐藤弥四郎… 998(6)

三叉神経感覚情報処理の中樞機構

……………横田 敏勝…1009(6)

顎・顔面領域の深部感覚情報(骨

膜・筋膜・歯根膜)……………坂田 三弥…1021(6)

歯髄の感覚情報……………堀内 博…1035(6)

顎・顔面領域の固有受容性感覚…河村洋二郎…1042(6)

三叉神経入力による顎・舌・顔面筋反

射……………中村 嘉男…1054(6)

三叉神経運動ニューロンの皮質性

制御……………久保田 競…1068(6)

三叉神経核の感覚情報伝達に関する

薬理学的研究

……………笹 征史・高折 修二…1076(6)

咀嚼筋の筋電図……………三谷 春保…1086(6)

三叉神経痛……………若杉 文吉…1096(6)

進行性顔面半側萎縮症……………古川 哲雄…1105(6)

咬合の異常と神経筋症状

……………石川 純・佐藤 文彦…1113(6)

〔綜 説〕

肝性脊髄症(Hepatic myelopathy)

……………福田 真二・平山 恵造… 563(3)

〔原 著〕

脳腫瘍血管の超微細構造と血液脳

関門に関する研究……………土田 正 362(2)

有機溶剤シンナー吸入の慢性ネコ

に及ぼす行動変化とそのポリ

グラフ的検討—エーテルおよ

びケタミンとの比較—

石黒 健夫・諏訪 克行・島蘭 安雄… 378(2)

Striato-nigral Degeneration(3割

検例の検討)

小川 恵弘・平井 脩司・高木 康行

斉藤 佳雄・加藤 雄司・松山 春郎… 393(2)

Mitochondria の異常を伴った

Oculocranioskeletal Neuromuscular

Disease の1家系

田村 潔・三田 哲司・黒岩義五郎… 403(2)

シナプスにおける化学的伝達物質

受容部位の蛍光法による研究

……………菊野 正隆・関谷 真… 587(3)

脳腫瘍血管の超微細構造と血液脳

関門に関する研究—第2報

実験脳腫瘍から—……………土田 正… 595(3)

橋腫瘍を形成した原発性中枢神経

系悪性黒色腫の1割検例およ

び本邦症例の文献的考察—そ

の Morphogenesis ことに

Neurocutaneous Melanosis

との関係について—

武田 文和・河野 徳雄・熊谷 紀元

相羽 正・川淵 純一・城下 尚… 603(3)

白血病に伴う脊髄軟化の病理—脊

椎静脈叢浸潤による脊髄の静

脈性硬塞—

長嶋 和郎・今村 哲夫・高橋 健一

井上 篤・長嶋 淑子・山根 至二… 615(3)

パーキンソン症候群に対する

Amantadine・HCl (Symmetrel®)

ならびに Trihexyphenidyl

の治療効果—二重盲検法によ

る検討—

塩沢 瞭一・平山 恵造・石島 武一

伊藤 斉・丸山 勝一・楢林博太郎

高橋 良・宇尾野公義・吉田 充男… 949(5)

〔神経学原典リスト〕

A List of Original and Classical

Descriptions of Neurological
Diseases, Signs and Syndromes
with Their Historical Notes(6)

豊倉 康夫・杉田 秀夫・古川 哲雄
岩田 誠…………… 417(2)

〔書 評〕

Riss, W., K. Koizumi and Ch.
McC Brooks 編「Basic Thalamic
Structure and Function」……中村 嘉男… 106(1)
Bernhard Neundorfer 著
「Differentialtypologie der
Polyneuritiden und
Polyneuropathien」……………祖父江逸郎… 200(1)
M. Mumenthaler & H. Schliack
編「Laesionen peripherer Nerven:
Diagnostik und Therapie 2 Aufl.」
……………東儀 英夫… 252(1)
A. Iggo 編「Somatosensory
System」…………… 岩村 吉晃… 416(2)
Fuortes, M.G.F. 編「Physiology
of Photoreceptor Organs」……田崎 京二… 586(3)
E. Zimmermann 他編「Drug

Effects on Neuroendocrine

Regulation」……………川上 正澄… 809(4)
Steven Rose 著「The Conscious
Brain」…………… 二木 宏明… 810(4)
J.A. Kappers & J.P. Schadé 編
「Topics in Neuroendocrinology」
……………根来 英雄… 961(5)
J-P. Cordeau & P. Gloor 編
「Recent Contributions To
Neurophysiology」……………前川 杏二… 962(5)
W.C. McCallum & J.R. Knott
編「Event-Related Slow
Potentials of the Brain—Their
Relations to Behavior」……川村 浩… 963(5)
E. Costa, L.L. Iversen, and R.
Paoletti 編「Studies of
Neurotransmitters at the
Synaptic Level」……………小幡 邦彦… 964(5)
J.J. Bernstein and D.C. Goodman
編「Neuromorphological
Plasticity」……………金光 晟…1121(6)
D.H. Ford 編「Neurobiological
Aspects of Maturation and
Aging」……………平井 俊策…1122(6)
「Selected Works of B.G. Ziedses
des Plantes」……………久留 裕…1123(6)